ドア本体操作でのキーの登録・削除

ご使用前に確認してください

●必ず、P.7「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

この章ではドア本体を操作してのカギの登録と削除について説明します。

各モードの説明

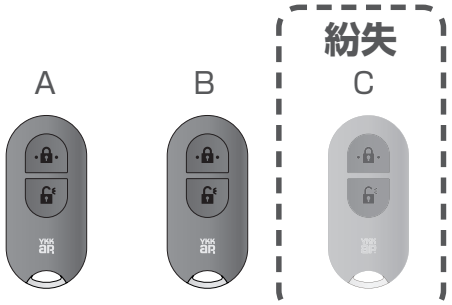
スマートコントロールキーに搭載されているモードについて説明しています。
現在の状況に合わせてモードを選択し、リモコンキー、タグキーを登録してください。

■登録モード

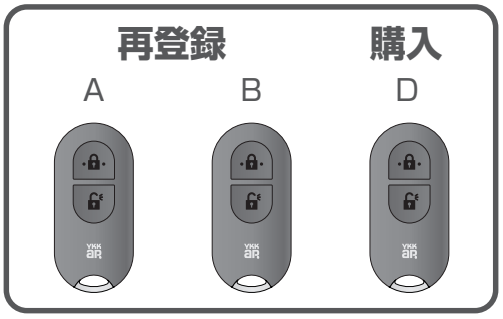
- リモコンキー、タグキーを登録するモードです。
- 登録モードで登録を実行すると、以前あった同種のカギ情報を削除して、新たな登録情報を上書きします。（リモコンキーを登録した場合は、以前のすべてのリモコンキーの登録情報が上書き保存されますが、別種のカギであるタグキーの情報は削除されません。）
- 以前の登録情報を残したまま、キーを登録したいときは、追加登録モードをご利用ください。（➡P.53）
- 登録モードでリモコンキーを登録するときは、使用するすべてのリモコンキーを登録してください。
- 登録モードでタグキーを登録するときは、使用するすべてのタグキーを登録してください。
- 万一、リモコンキーやタグキーを一つでも紛失した場合は、残りのすべてのリモコンキー、またはタグキーを登録モードで再登録して、紛失したカギの情報を無効にしてください。（紛失以前までの登録情報は削除され、カギ情報は上書きされます。）

※リモコンキーやタグキーを再登録しても、スマートフォンの情報は削除されません。
※リモコンキーを再登録しても、タグキーの情報は削除されません。
タグキーを紛失した場合は、タグキーの再登録を行ってください。
※タグキーを再登録してもリモコンキーの情報は削除されません。
リモコンキーを紛失した場合は、リモコンキーの再登録を行ってください。

（例）
お使いのリモコンキー（C）を紛失し、
新しいリモコンキー（D）を購入して
登録したい場合・・・



リモコンキー
（A、B、D）を
登録モードで登録



紛失したリモコンキー（C）の情報が削除され、
リモコンキー（A、B、D）を登録できます

■スマートフォン登録モード

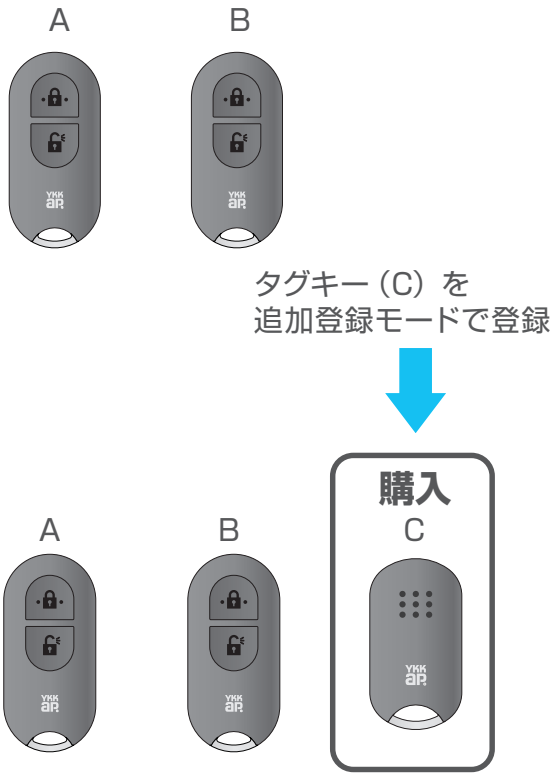
- 現在、お使いのスマートフォンを管理用スマートフォンとして登録するモードです。
- スマートフォンを登録すると、アプリを使って、キーの管理（登録／削除／名前設定）や各種設定をすることができます。詳細は「スマートフォンを登録する」（➡P.78）を参照してください。

■追加登録モード

- 新たに購入したリモコンキー、タグキーを追加登録するモードです。
- リモコンキー、タグキーを新たに追加したい時に、
  現在お使いのリモコンキー、タグキーの情報を残しつつ、登録することができます。

※追加登録モードでリモコンキー、タグキーを登録しても、
現在お使いのリモコンキー、タグキーの情報は削除されません。

（例）
お使いのリモコンキー（A、B）に加えて、
タグキー（C）を追加したい場合・・・



■削除モード

- 現在登録されている、すべてのリモコンキー／タグキー／スマートフォンの情報を一括で削除するモードです。
- 次のような場合、削除モードを使うと便利です。
  ・リモコンキー／タグキー／スマートフォンの登録状況がわからなくなったので削除して、登録し直したい
  ・お施主様がお引っ越しされる時

※スマートフォンを登録している場合は、削除を行った後、スマートフォンごとに「ドア（電気錠）の削除」（➡P.116）と「Bluetooth® ペアリング情報の削除」（➡P.177）もセットで行ってください。

※ドア本体操作では、リモコンキー／タグキー／スマートフォンを1台ずつ削除することはできません。
管理用スマートフォンを登録することで、管理用スマートフォンからの操作で個別削除ができる様になります。
（「スマートフォン専用アプリ「ｽﾏｰﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｷｰ」をインストールする（➡P.77）を参照）

登録モードの選択

登録したい状況に合わせた登録モードを紹介しています。
下記を参考にリモコンキー、タグキー、スマートフォンを登録してください。

- リモコンキー、タグキーを登録する前に、事前準備が必要です。
  詳細は、「登録・削除前の準備」（➡P.45）をご確認ください。
  登録前の準備をした上で、下記参照先をご覧ください。

想定されるシーン	使用するモード	作業手順
初めてリモコンキー／タグキーを登録する	登録モード	P.47
新しいリモコンキー／タグキーを購入したので、追加で登録する	追加登録モード	P.53
使用していたリモコンキー／タグキーを紛失したため、改めてリモコンキー／タグキーを再登録する（※1）	登録モード	P.47
初めてスマートフォンを登録する ※1台目の登録は管理用スマートフォンとなります 「登録するスマートフォンの種類」	スマートフォン登録モード	P.78
リモコンキー／タグキー／スマートフォンのすべての登録を削除したい	削除モード	P.59

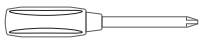
※1：非常用収納カギ付きのリモコンキー、タグキーを紛失した場合は、防犯配慮のため、シリンダーを交換することを推奨しています。
建築会社、工務店、販売店、当社お客様相談室までご相談ください。

- スマートフォン登録モードで専用アプリ「ｽﾏｰﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｷｰ」をインストールしたスマートフォンを登録すると、スマートフォンからの操作でカギの登録や削除などができる様になります。
- アプリのインストール方法については、「スマートフォン専用アプリ「ｽﾏｰﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｷｰ」をインストールする」（➡P.77）を参照ください。
- スマートフォンの機能については「スマートフォンを登録する」（➡P.78）を参照ください。

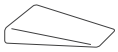
登録・削除前の準備

- 防犯配慮のため、必ずお施主様ご自身で「工事用カギの無効化」（➡ P.21）を行ってください。
- 防犯配慮のため、キーの登録は自身で行ってください。
- 登録の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯して行ってください。

■用意するもの



プラスドライバー



ドアストッパー



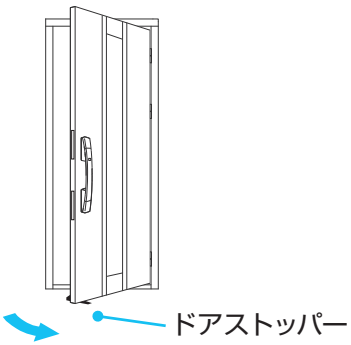
非常用収納カギまたは非常用カギ

■登録前の準備

1 ドアを固定する

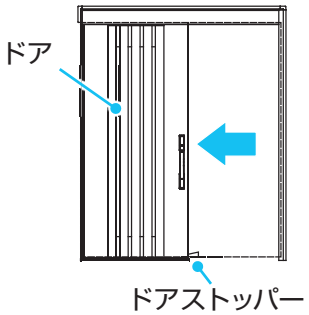
ドアの場合

ドアを開け、ドアストッパーなどで固定します。



スライディングドアの場合

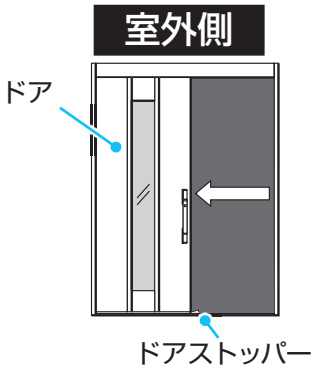
ドアを全開にして、ドアストッパーなどで固定します。



リニアシステムの場合

リニアシステムの電源を切ってから、ドアをドアストッパーなどで固定します。

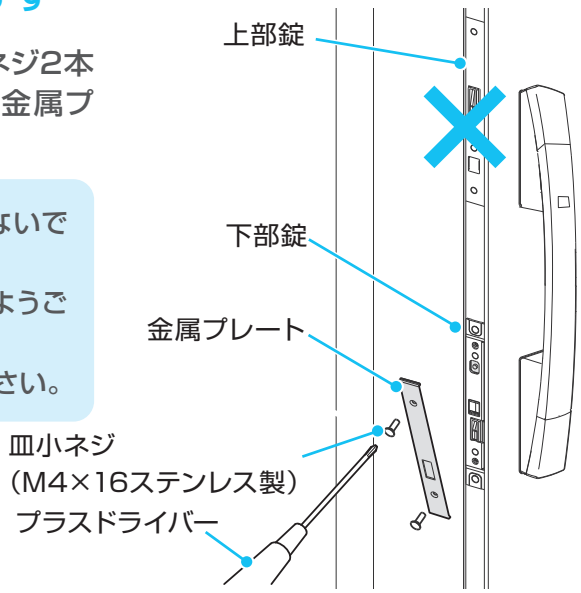
「リニアシステムの電源の切り方」(➡P.61)



2 下部錠の金属プレートをはずす

下部錠の金属プレートの取り付けネジ2本をプラスドライバーで取りはずし、金属プレートをはずします。

- 上部錠の取り付けネジははずさないでください。
- ネジ、金属プレートをなくさないようご注意ください。
- 金属プレートの落下にご注意ください。



登録モードでリモコンキー／タグキーを登録する

現在、登録されているリモコンキーの情報を削除しつつ、
新たにリモコンキーを登録します。
お持ちのすべてのリモコンキーをご準備ください。

動画はこちら
リモコンキー　タグキー

動画は玄関ドアで説明しています。

- 防犯配慮のため、キーの登録はお施主様自身で行ってください。
- 登録の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯して行ってください。
- 事前に下部錠の金属プレートを取りはずしてください。「登録・削除前の準備」（➡ P.45 ）

■用意するもの



使用するすべてのリモコンキー



使用するすべてのタグキー



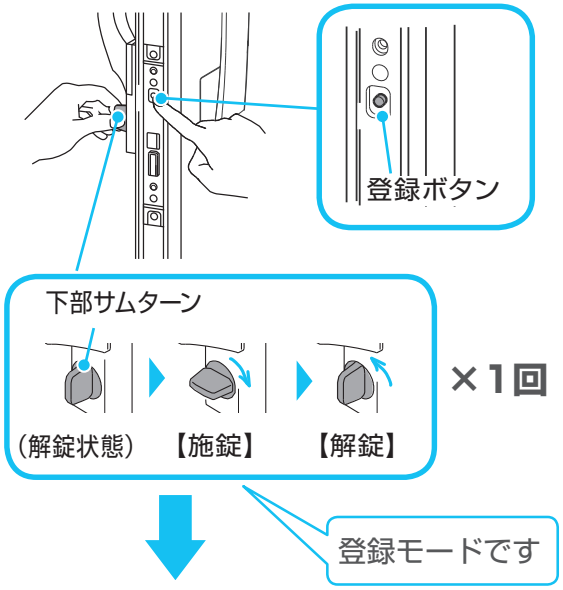
非常用収納カギまたは非常用カギ

■登録手順

1 登録モードにする

登録ボタンを押しながら、
下部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を1回
行ってください。

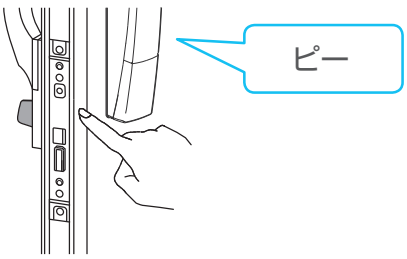
※「登録モードです」と音声が流れます。



音声を確認したら、登録ボタンから指
をはなしてください。
【登録モード】が確定します。

※【登録モード】が確定すると、「ピー」と
音が鳴ります。

※30秒間登録操作がない場合、自動で登
録モードが終了します。

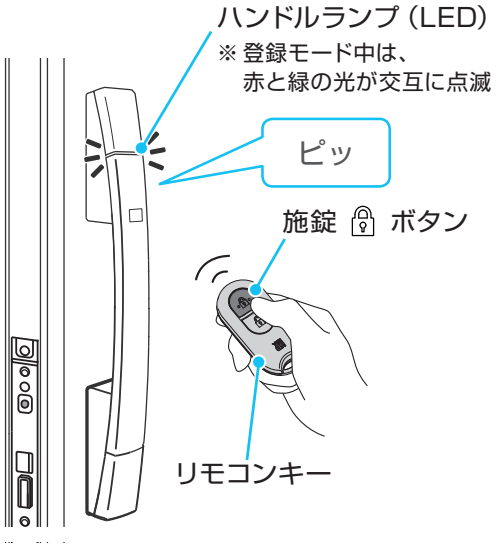


2 リモコンキー／タグキーを登録する

リモコンキーを登録する場合

リモコンキーの施錠ボタンを1回押してください。

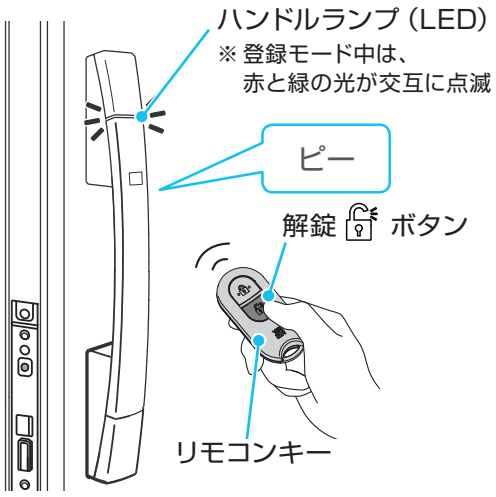
※「ピッ」と短く音が鳴ります。



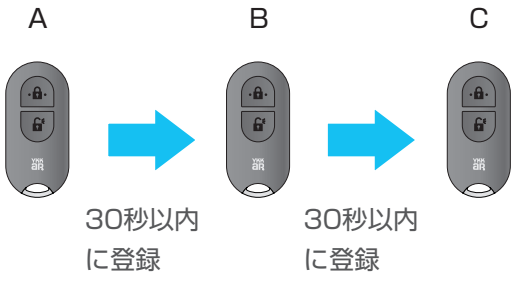
続けて、リモコンキーの解錠ボタンを1回押してください。

※「ピー」と音が鳴ります。
※ハンドルの緑ランプが1回点灯します。

これで登録完了です。



上記手順を繰り返し、使用するすべてのリモコンキーを登録します。



- 最大８個まで登録できます。
- リモコンキーはそれぞれ30秒以内に登録してください。
- 30 秒間登録操作がない場合、「終了します」と音声が流れて、自動で登録モードを終了します。

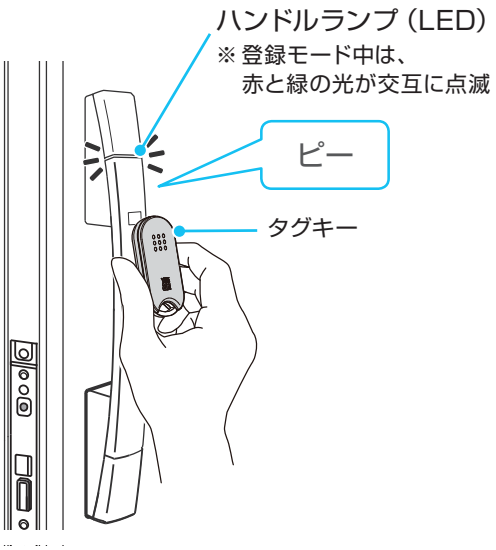
状態	登録状況	備考
「ピー」と音が鳴り ハンドルの緑ランプが1回点灯した	登録完了	登録したリモコンキーで施錠／解錠できます
「ピピピ」と音が鳴り ハンドルの赤ランプが 3回点灯後、「登録済みです」と音声が流れた	登録失敗	すでに登録済みのリモコンキーを登録しようとした
「ピピピ」と音が鳴り ハンドルの赤ランプが 3回点灯後、「登録数が最大です」と音声が流れた	登録失敗	9個目のリモコンキーを登録しようとした (リモコンキーは最大8個まで登録できます)
「ピピピ」と音が鳴りハンドルの赤ランプが 3回点灯後「登録エラーです」と音声が流れた	登録失敗	リモコンキーの登録で、ボタンを押す順番を間違えた

タグキーを登録する場合

タグキーをハンドルの読み取り部に近づけてください。

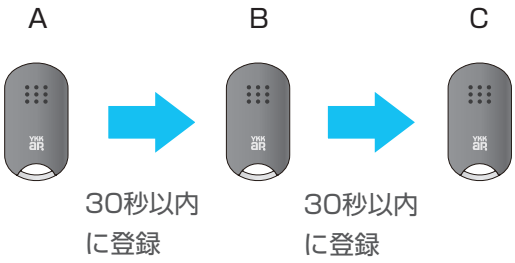
※「ピー」と音が鳴ります。
※ハンドルの緑ランプが1回点灯します。

これで登録完了です。



上記手順を繰り返し、使用するすべてのリモコンキーを登録します。

- 最大 20 個まで登録できます。
- タグキーはそれぞれ30秒以内に登録してください。
- 30 秒間登録操作がない場合、「終了します」と音声が流れて、自動で登録モードを終了します。

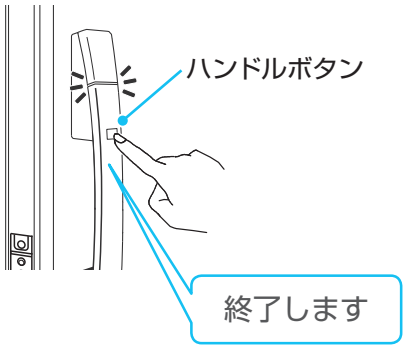


状態	登録状況	備考
「ピー」と音が鳴り ハンドルの緑ランプが1回点灯した	登録完了	登録したタグキーで施錠／解錠できます
「ピピピ」と音が鳴り ハンドルの赤ランプが 3回点灯後、「登録済みです」と音声が流れた	登録失敗	すでに登録済みのタグキーを登録しようとした
「ピピピ」と音が鳴りハンドルの赤ランプが 3回点灯後、「登録数が最大です」と音声が流れた	登録失敗	21個目のタグキーを登録しようとした(タグキーは最大20個まで登録できます)

3 登録モードを終了する

ハンドルボタンを2秒以上押して登録モードを終了します。

※終了する際、「終了します」と音声が流れます。
※30秒間操作なしでも「終了します」の音声が流れて、自動で登録モードを終了します。



4 ドアを閉じる

ストッパーをはずしてドアを閉じます。

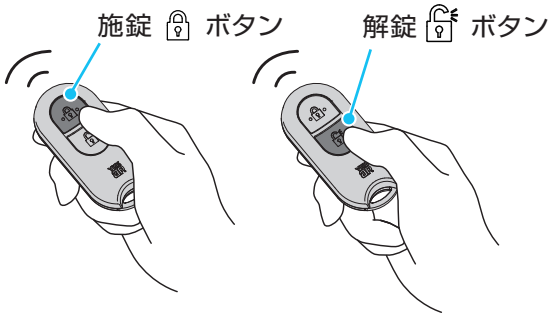
5 施錠 / 解錠の確認をする

登録したリモコンキー/タグキーで施解錠できるか確認します。

リモコンキーの確認

リモコンキーの施錠/解錠ボタンを押して、施解錠できるかを確認します。

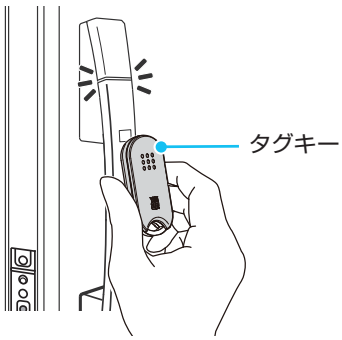
- 施錠／解錠ができないリモコンキーがある場合は、手順 1 から登録し直してください。



タグキーの確認／AC100Vの場合

タグキーをハンドルの読み取り部に近づけて、施解錠されるかを確認します。

- 施錠／解錠ができないタグキーがある場合は、手順 1 から登録し直してください。

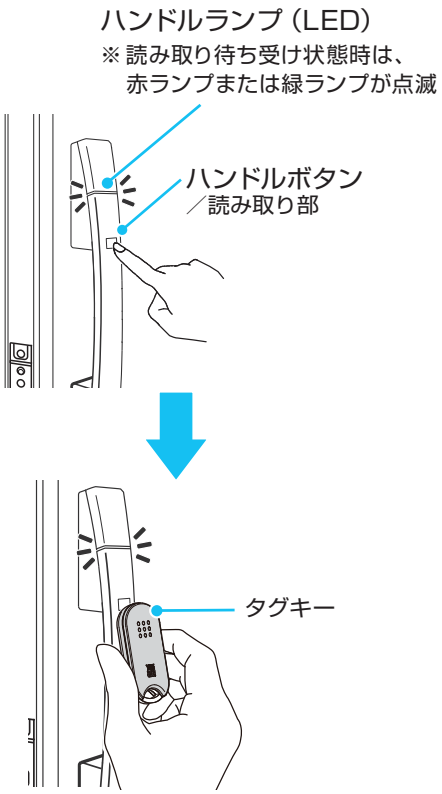


タグキーの確認／電池式の場合

ハンドルボタンを押して、読み取り待ち受け状態にしてから、タグキーをハンドル読み取り部に近づけて施解錠されるかを確認してください。

※読み取り待ち受け状態になると、ハンドルの赤ランプまたは緑ランプが点滅します。

●施錠／解錠ができないタグキーがある場合は、手順 1 から登録し直してください。



状態	状況	備考
〈リモコンキー/タグキー共通〉 「ピピピピピ」と音が5回鳴り、 ハンドルの緑と赤ランプが交互に 5回点滅した	施錠／解錠失敗	• 施錠／解錠動作に異常が発生した場合は、（➡P.45）を参照してください。 • 玄関ドアの場合は、錠受けを調整してください（➡P.162）
〈タグキーの場合〉 ピーピーピーと音が3回鳴り ハンドルの赤ランプが3回点滅した	施錠／解錠失敗	• 登録していないタグキーがかざされた

6 下部錠の金属プレートを取り付ける

「登録前の準備」（➡P.45）と同じように再度ドアを固定し、取りはずした金属プレートを取り付けます。

※リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」（➡P.62）

追加登録モードでリモコンキー／タグキーを登録する

現在、登録されているリモコンキー／タグキーの情報は残しつつ、
新たにリモコンキー／タグキーを追加登録します。
追加登録するすべてのリモコンキー／タグキーをご準備ください。

動画はこちら
リモコンキー　タグキー

動画は玄関ドアで説明しています。

- 防犯配慮のため、キーの登録はお施主様自身で行ってください。
- 事前に下部錠の金属プレートを取りはずしてください。「登録・削除前の準備」(➡ P.45)

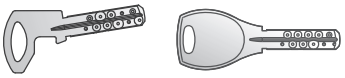
■用意するもの



追加登録するリモコンキー



追加登録するタグキー



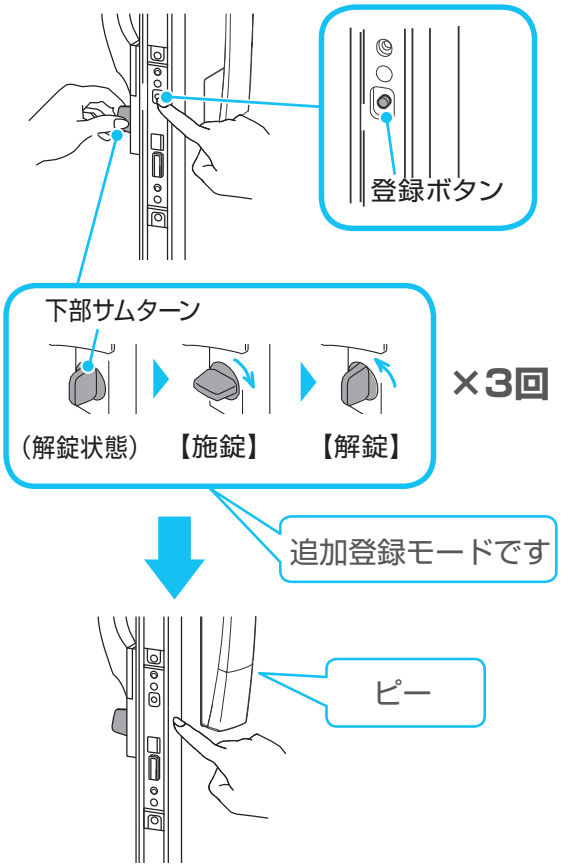
非常用収納カギまたは非常用カギ

■登録手順

1 追加登録モードにする

登録ボタンを押しながら、
下部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】を3回 行ってください。

※「追加登録モードです」と音声が流れます。



音声を確認したら、登録ボタンから指をはなしてください。
【追加登録モード】が確定します。

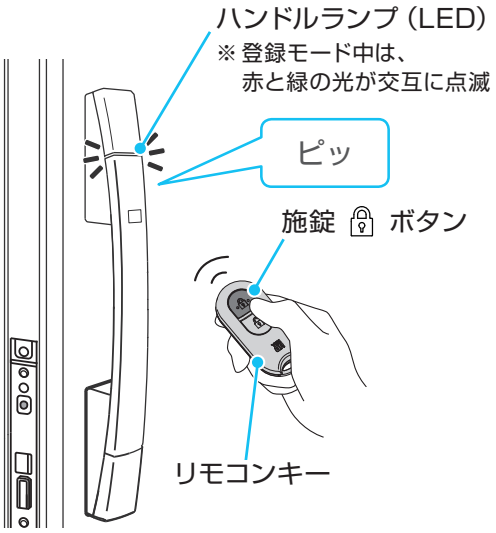
※【追加登録モード】が確定すると、「ピー」と音が鳴ります。

※30秒間登録操作がない場合、自動で登録モードを終了します。

2 リモコンキーを登録する

リモコンキーの施錠ボタンを1回押してください。

※「ピッ」と短く音が鳴ります。



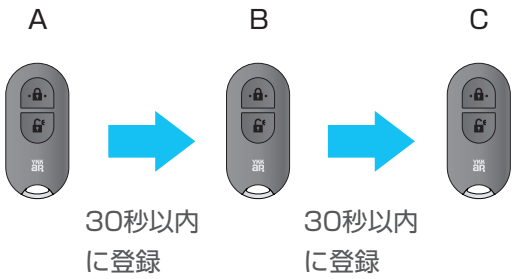
続けて、リモコンキーの解錠ボタンを1回押してください。

※「ピー」と音が鳴ります。
※ハンドルの緑ランプが1回点灯します。

これで登録完了です。



上記手順を繰り返し、使用するすべてのリモコンキーを登録します。



- 最大８個まで登録できます。
- リモコンキーはそれぞれ30秒以内に登録してください。
- 30 秒間登録操作がない場合、「終了します」と音声が流れて、自動で登録モードを終了します。

状態	登録状況	備考
「ピー」と音が鳴り ハンドルの緑ランプが1回点灯した	登録完了	登録したリモコンキーで施錠／解錠できます
「ピピピ」と音が鳴り ハンドルの赤ランプが 3回点灯後、「登録済みです」と音声が流れた	登録失敗	すでに登録済みのリモコンキーを登録しようとした
「ピピピ」と音が鳴り ハンドルの赤ランプが 3回点灯後、「登録数が最大です」と音声が流れた	登録失敗	9個目のリモコンキーを登録しようとした (リモコンキーは最大8個まで登録できます)
「ピピピ」と音が鳴り ハンドルの赤ランプが 3回点灯後 「登録エラーです」と音声が流れた	登録失敗	リモコンキーの登録で、ボタンを押す順番を間違えた

タグキーを登録する場合

タグキーをハンドルの読み取り部に近づけてください。

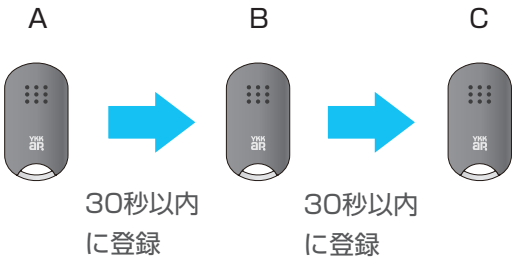
※「ピー」と音が鳴ります。
※ハンドルの緑ランプが1回点灯します。

これで登録完了です。



上記手順を繰り返し、使用するすべてのリモコンキーを登録します。

- 最大 20 個まで登録できます。
- タグキーはそれぞれ30秒以内に登録してください。
- 30 秒間登録操作がない場合、「終了します」と音声が流れて、自動で登録モードを終了します。

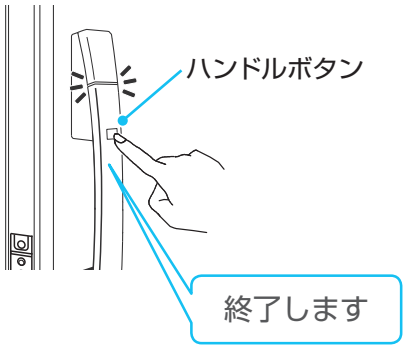


状態	登録状況	備考
「ピー」と音が鳴り ハンドルの緑ランプが1回点灯した	登録完了	登録したタグキーで施錠／解錠できます
「ピピピ」と音が鳴り ハンドルの赤ランプが 3回点灯後、「登録済みです」と音声が流れた	登録失敗	すでに登録済みのタグキーを登録しようとした
「ピピピ」と音が鳴りハンドルの赤ランプが 3回点灯後、「登録数が最大です」と音声が流れた	登録失敗	21個目のタグキーを登録しようとした(タグキーは最大20個まで登録できます)

3 登録モードを終了する

ハンドルボタンを2秒以上押して登録モードを終了します。

※終了する際、「終了します」と音声が流れます。
※30秒間操作なしでも「終了します」の音声が流れて、自動で登録モードを終了します。

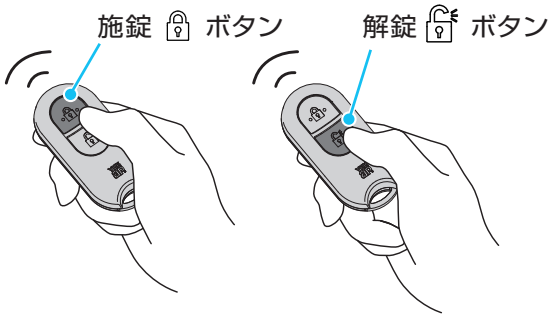


4 ドアを閉じる

ストッパーをはずしてドアを閉じます。

5 施錠 / 解錠の確認をする

登録したリモコンキー/タグキーで施解錠できるか確認します。



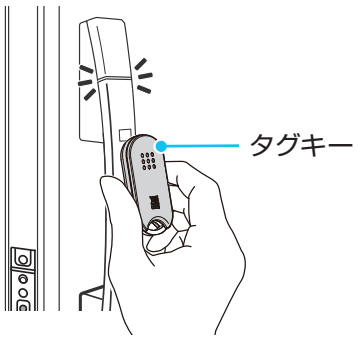
リモコンキーの確認

リモコンキーの施錠/解錠ボタンを押して、施解錠できるかを確認します。

- 施錠／解錠ができないリモコンキーがある場合は、手順 1 から登録し直してください。

タグキーの確認／AC100Vの場合

タグキーをハンドルの読み取り部に近づけて、施解錠されるかを確認します。



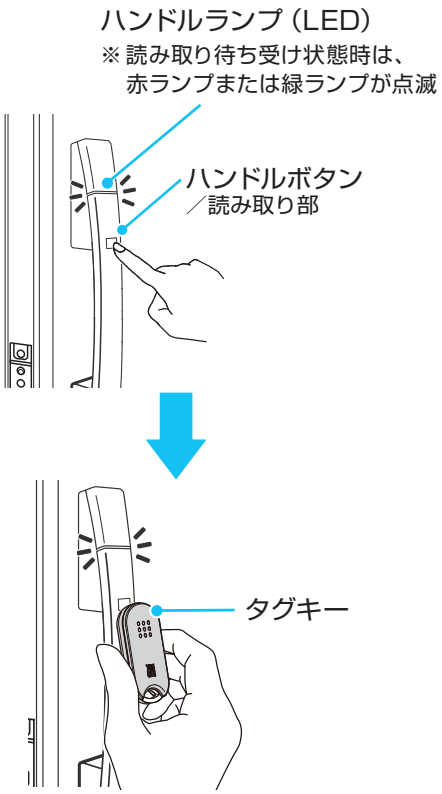
- 施錠／解錠ができないタグキーがある場合は、手順 1 から登録し直してください。

タグキーの確認／電池式の場合

ハンドルボタンを押して、読み取り待ち受け状態にしてから、タグキーをハンドル読み取り部に近づけて施解錠されるかを確認してください。

※読み取り待ち受け状態になると、ハンドルの赤ランプまたは緑ランプが点滅します。

●施錠／解錠ができないタグキーがある場合は、手順 1 から登録し直してください。



状態	状況	備考
〈リモコンキー/タグキー共通〉 「ピピピピピ」と音が5回鳴り、 ハンドルの緑と赤ランプが交互に 5回点滅した	施錠／解錠失敗	• 施錠／解錠動作に異常が発生した場合は、（➡P.45）を参照してください。 • 玄関ドアの場合は、錠受けを調整してください（➡P.162）
〈タグキーの場合〉 ピーピーピーと音が3回鳴り ハンドルの赤ランプが3回点滅した	施錠／解錠失敗	• 登録していないタグキーがかざされた

6 下部錠の金属プレートを取り付ける

「登録前の準備」（➡P.45）と同じように再度ドアを固定し、取りはずした金属プレートを取り付けます。

※リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」（➡P.62）

削除モードですべてのキーの登録を削除する

現在、登録されているすべてのリモコンキー、タグキー、スマートフォンの情報を削除します。

- 削除の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯して行ってください。
- 事前に下部錠の金属プレートを取りはずしてください。「登録・削除前の準備」（➡ P.45）

■用意するもの



非常用収納カギまたは非常用カギ

■削除手順

1 削除モードにする

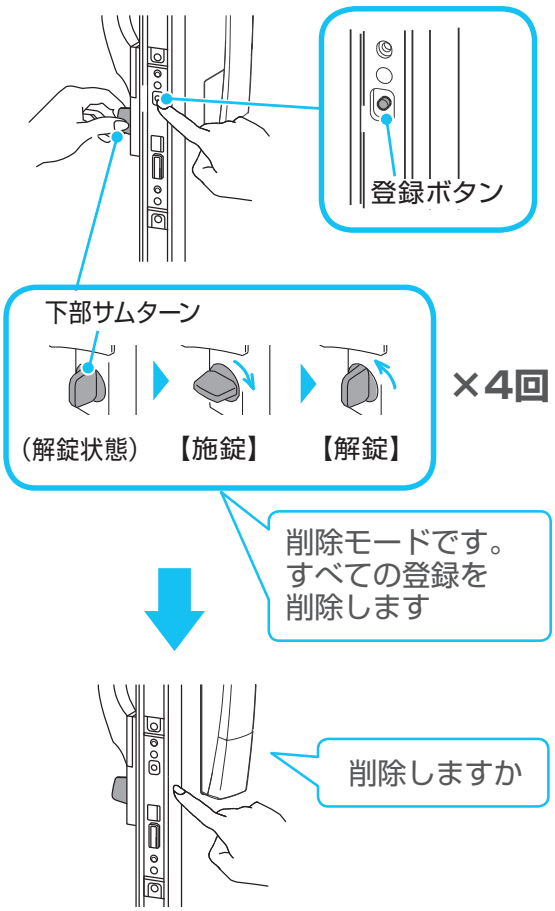
登録ボタンを押しながら、
下部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】を4回 行ってください。

※「削除モードです。すべての登録を削除します」と音声が流れます。

音声を確認したら、登録ボタンから指をはなしてください。
【削除モード】が確定します。

※【削除モード】が確定すると、「削除しますか」と音声が流れます。

- 削除を中止する場合は、ハンドルボタンを 2 秒以上押してください。「終了します」と音声が流れ、削除モードを終了します。
- 10 秒間無操作でも「削除を中止します」と音声が流れ、削除モードを中止します。



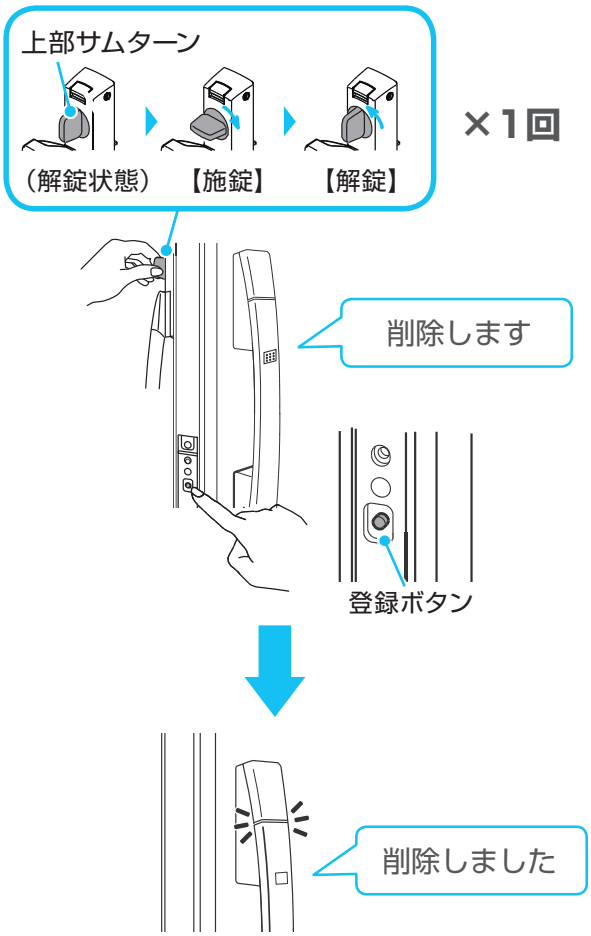
2 すべてのキーの登録を削除する

登録ボタンを押しながら、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を1回 行ってください。

※「削除します」と音声が流れます。
※削除が完了したら、「削除しました」と音声が流れます。

これで削除完了し、削除モードを終了します。

● 削除に失敗した時は、「削除に失敗しました」と音声が流れます。再度、手順 1 からやり直してください。



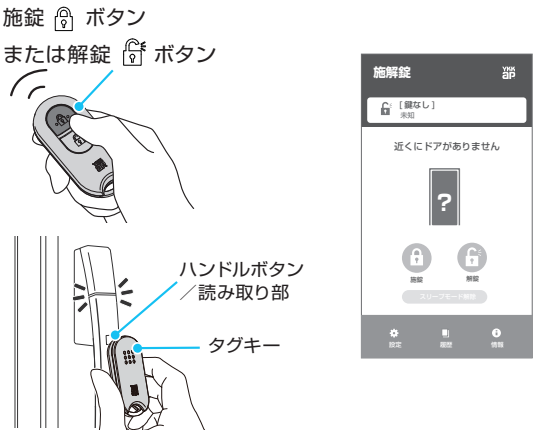
3 ドアを閉じる

ストッパーをはずしてドアを閉じます。

4 施錠／解錠の確認をする

お持ちのリモコンキー、タグキー、スマートフォンが使用できないことを確認します。

※削除後、アプリは「?」表示になります。



5 下部錠の金属プレートを取り付ける

「登録前の準備」（➡P.45）と同じように再度ドアを固定し、取りはずした金属プレートを取り付けます。

※リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」(➡P.62)

リニアシステム：電源の入れ方/切り方

リニアシステムの場合、カギの登録・削除やドアの設定作業を行う際は、次の手順で電源を切り、作業完了後、電源を入れて復帰してください。
電源スイッチを入れた後、リニアシステムが「 全開」、「全閉」の位置を記憶するため、初期設定動作として自動でドアが閉まります。

■電源を切る

お願い

- ドアが動いている状態で電源スイッチを切ると、ドアがそのまま惰性で動きます。
  必ずドアが止まっている状態で電源スイッチを切ってください。

1 ドアを全開保持状態にする

ドアが全開位置まで開いた状態で、ブザーが鳴るまでドアが閉まらないよう手で押さえます。

※ブザーが鳴り、全開状態が保持されます。

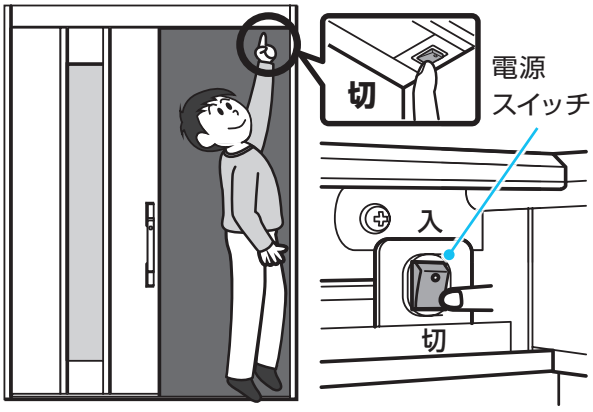
※全開保持機能については、リニアシステム用取扱説明書をご参照ください。



2 電源スイッチを切る

上枠の戸先側に設置された電源スイッチの「切」側を押し電源を切ります。

- 電源スイッチを切った後もスマートコントロールキーおよび顔認証ユニットの電源は切れません。
  それぞれの機能はそのままご使用になれます。

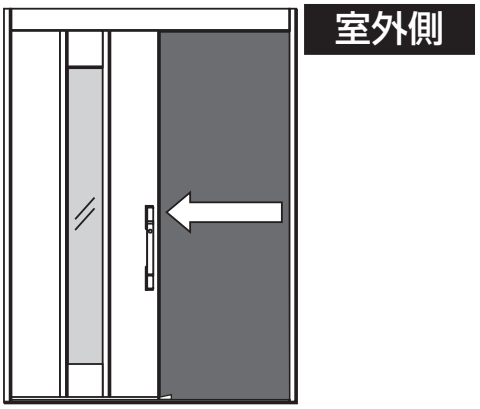


■電源を入れる

お願い

- 電源を入れた後は、ドアが自動で閉まってきます。
  可動範囲内および検知エリア内に物を置かないようにしてください。
- 電源スイッチを操作する前に、ドアの可動範囲に障害物がないこと、開閉がスムーズに行えることをご確認ください。
- 脚立などをご使用になる場合は、ドアの開閉軌跡上に置かないでください。
  スイッチ操作後にドア可動範囲からスムーズに離れられるように脚立を配置してください。
- 初期設定動作中は、比較的速い速度でドアが開閉します。
- 初期設定動作中は、ドアに触らないでください。
  閉まりきらない、開閉動作が不安定など、正しく設定されていない場合があります。
  正しく設定されていない場合、一度電源を切り、手順 1 から電源を入れ直してください。

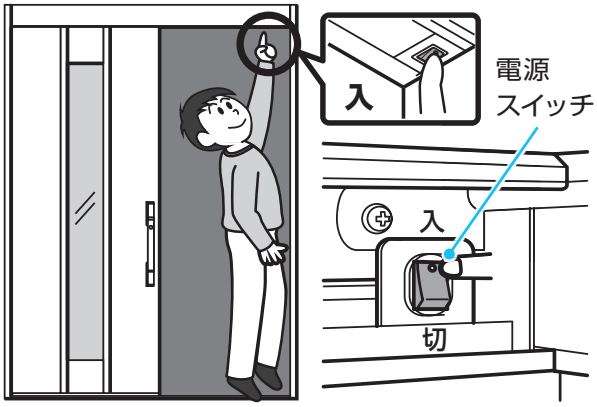
1 ドアを全開にする



2 電源を入れる

上枠の戸先側に設置された
電源スイッチの「入」側を押し
電源を入れます。

※数秒後、ドアが閉じ始めます。



3 自動でドアが閉まるのを待つ

ドアの可動範囲および検知エリアから
離れて自動でドアが閉まるのを待ちます。



4 ドアを開ける

ドアが完全に閉まりきったことを
確認してからドアを2cm以上開けて
ハンドルから手を離します。

※ドアが自動で開きます。



5 ドアが自動で閉まったことを確認する

ドアが全開位置まで開いた後、
全閉位置まで自動で閉まります。

※初期設定が完了です。



ドア本体操作での各種設定

ご使用前に確認してください

●必ず、P.7「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

設定項目の選択

ドア本体から、各機能の設定・変更を行うことができます。
下記を参考に、各機能の設定・変更を行ってください。
また、各機能内容については、「スマートコントロールキーの機能」（➡P.31）をご覧ください。

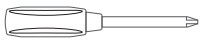
●各種設定を行う前に、事前準備が必要です。詳細は「設定前の準備」（➡ P.65）をご確認ください。
設定前の準備を行った上で、下記参照先をご覧ください。

設定項目	各機能内容	作業手順
自動施錠機能	ドア（電気錠）の自動施錠機能をON／OFF設定できます。	P.67
タイマー施錠機能	タイマー施錠機能が働くまでの時間25秒／50秒を設定できます。	P.69
動作確認音のON／OFF切り替え機能	施錠／解錠する際の動作確認音をON／OFF設定できます。	P.71
ハンドルボタン操作ON／OFF切り替え機能	リモコンキーやスマートフォンを持ってハンドルボタン操作で施錠／解錠する機能をON／OFF設定できます。	P.73
音量の大／小切り替え機能	音声ガイドの音量を大／小設定できます。	P.75

設定前の準備

- 防犯配慮のため、必ずお施主様ご自身で「工事用カギの無効化」（➡ P.21）を行ってください。
- 防犯配慮のため、キーの登録はお施主様自身で行ってください。
- 設定の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯して行ってください。

■用意するもの



プラスドライバー



ドアストッパー



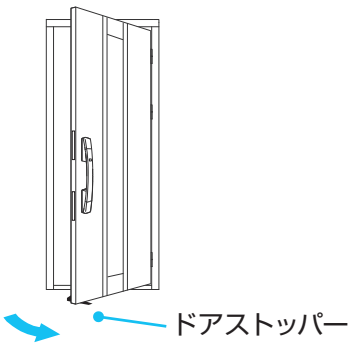
非常用収納カギまたは非常用カギ

■設定前の準備

1 ドアを固定する

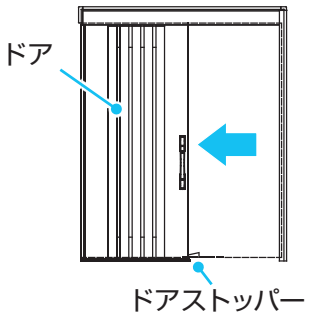
ドアの場合

ドアを開け、ドアストッパーなどで固定します。



スライディングドアの場合

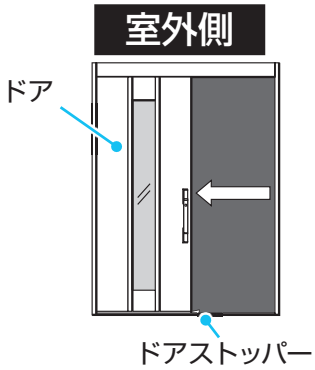
ドアを全開にして、ドアストッパーなどで固定します。



リニアシステムの場合

リニアシステムの電源を切ってから、ドアをドアストッパーなどで固定します。

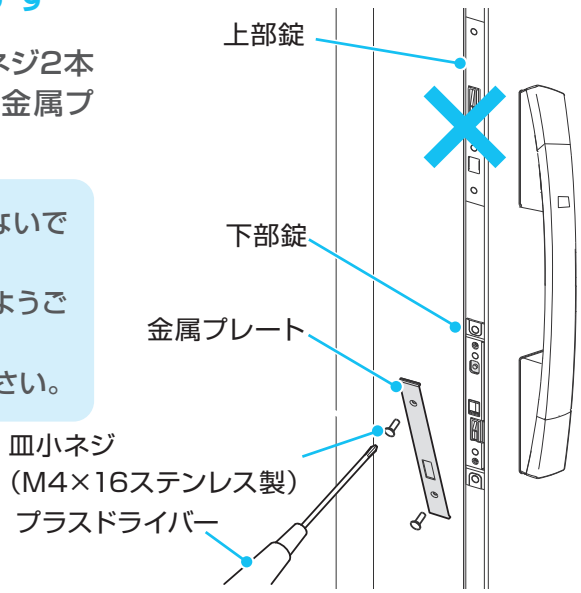
「リニアシステムの電源の切り方」(➡P.61)



2 下部錠の金属プレートをはずす

下部錠の金属プレートの取り付けネジ2本をプラスドライバーで取りはずし、金属プレートをはずします。

- 上部錠の取り付けネジははずさないでください。
- ネジ、金属プレートをなくさないようご注意ください。
- 金属プレートの落下にご注意ください。



自動施錠機能の設定

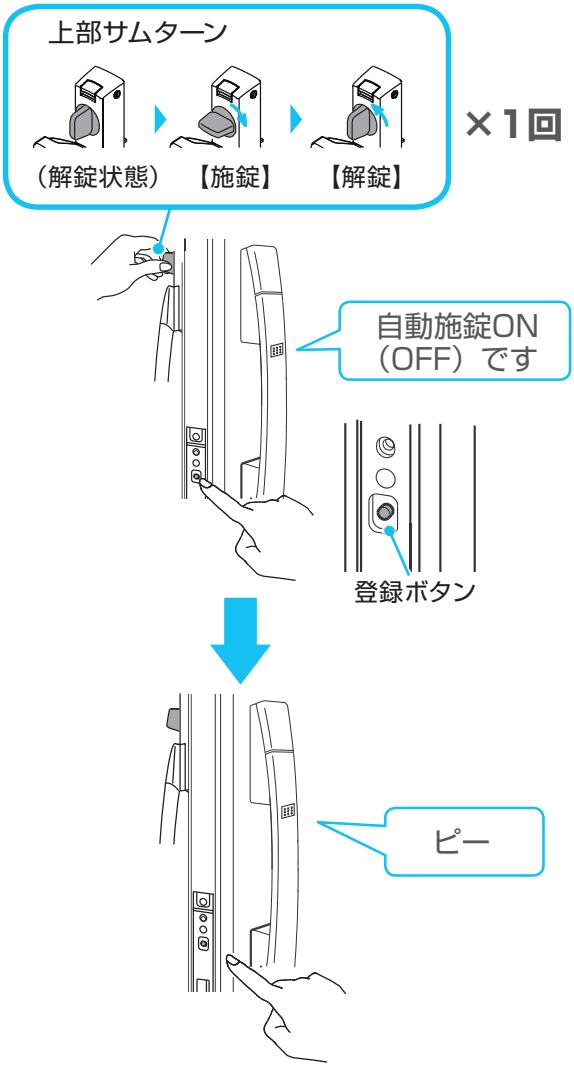
●設定の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯して行ってください。
●事前に下部錠の金属プレートを取りはずしてください。「設定前の準備」(➡ P.65)

■設定手順

1 自動施錠機能設定モードにする

登録ボタンを押しながら、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を**1回** 行ってください。

※「自動施錠ON（OFF）です」と現在の設定状態が音声で流れます。



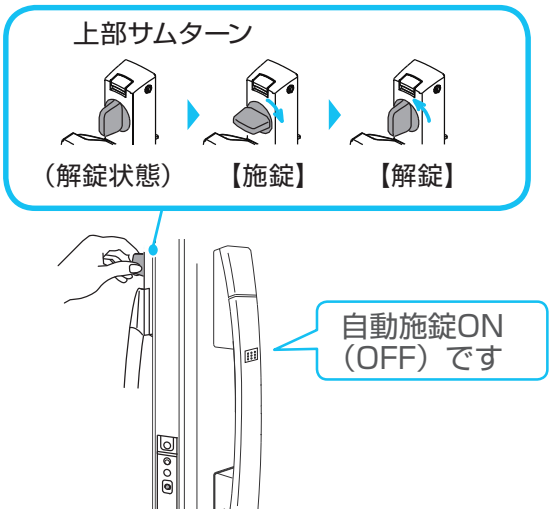
音声を確認したら、登録ボタンから指をはなしてください。
【自動施錠機能設定モード】が確定します。

※【自動施錠機能設定モード】が確定すると、「ピー」と音が鳴ります。

2 自動施錠の設定・解除をする

**登録ボタンを押さずに、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を行ってください。**

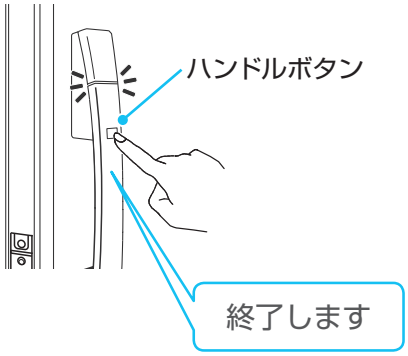
※「ON（OFF）です」と音声が流れます。
設定したい場合は、「ONです」
解除したい場合は、「OFFです」
の音声を確認してください。
※【施錠】⇒【解錠】の操作を行う度に
ON／OFFが切り替わります。



3 設定モードを終了する

ハンドルボタンを2秒押してください。

※ 設定モードを終了します。
※ 10秒間無操作でも設定モードを終了します。
※「終了します」と音声が流れます。



4 下部錠の金属プレートを取り付ける

「設定前の準備」（➡P.65）と同じように再度ドアを固定し、取りはずした金属プレートを取り付けます。

※リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」（➡ P.62）

●他機能を設定する場合は、金属プレートを取り付ける前に設定を行ってください。

タイマー施錠機能の設定

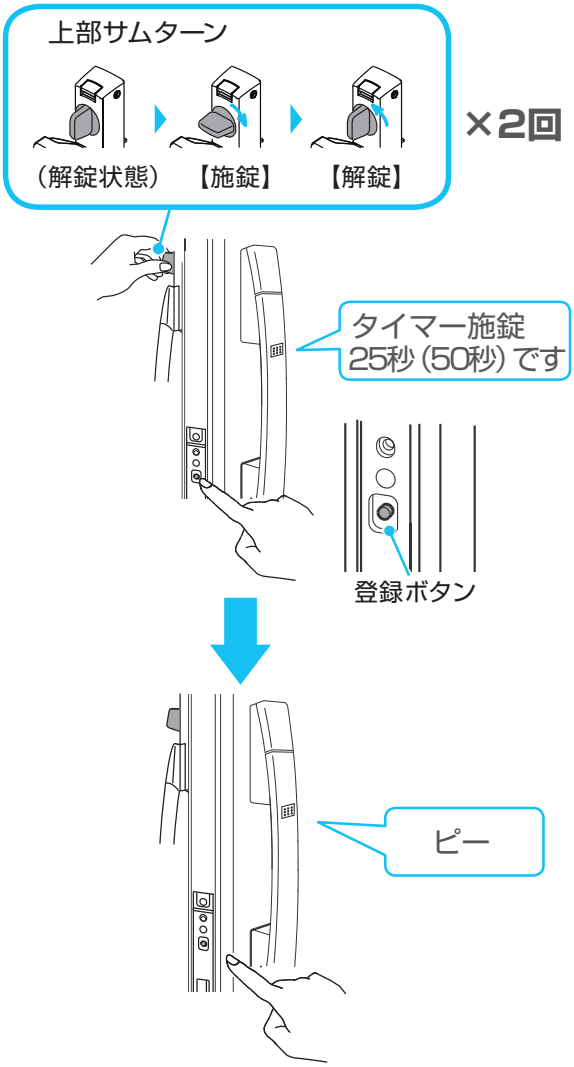
●設定の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯して行ってください。
●事前に下部錠の金属プレートを取りはずしてください。「設定前の準備」(➡ P.65)

■設定手順

1 タイマー施錠機能設定モードにする

登録ボタンを押しながら、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を**2回** 行ってください。

※「タイマー施錠25秒（50秒）です」と現在の設定状態が音声で流れます。



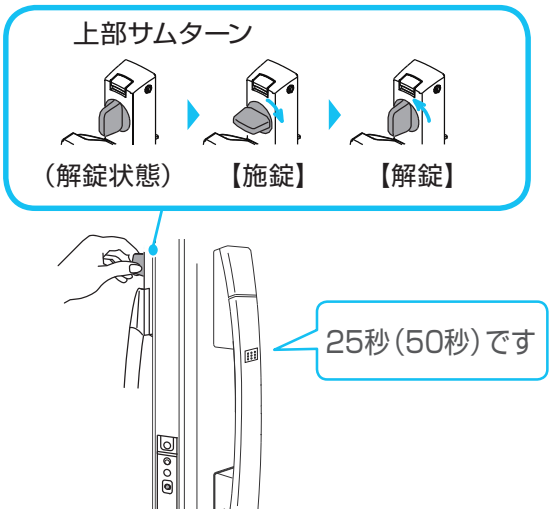
音声を確認したら、登録ボタンから指をはなしてください。
【タイマー施錠機能設定モード】が確定します。

※【タイマー施錠機能設定モード】が確定すると、「ピー」と音が鳴ります。

2 タイマー施錠の設定をする

**登録ボタンを押さずに、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を行ってください。**

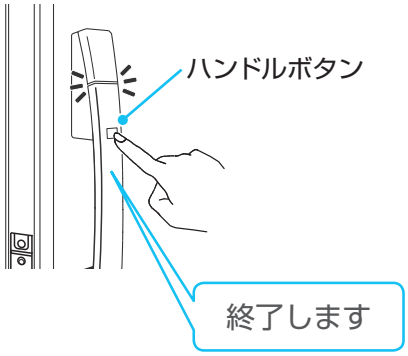
※「25秒（50秒）です」と音声が流れます。
25秒に設定したい場合は、「25秒です」
50秒に設定したい場合は、「50秒です」
の音声を確認してください。
※【施錠】⇒【解錠】の操作を行う度に
25秒／50秒が切り替わります。



3 設定モードを終了する

ハンドルボタンを2秒押してください。

※設定モードを終了します。
※10秒間無操作でも設定モードを終了します。
※「終了します」と音声が流れます。



4 下部錠の金属プレートを取り付ける

「設定前の準備」（➡P.65）と同じように再度ドアを固定し、取りはずした金属プレートを取り付けます。

※リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」（➡ P.62）

●他機能を設定する場合は、金属プレートを取り付ける前に設定を行ってください。

動作確認音の設定

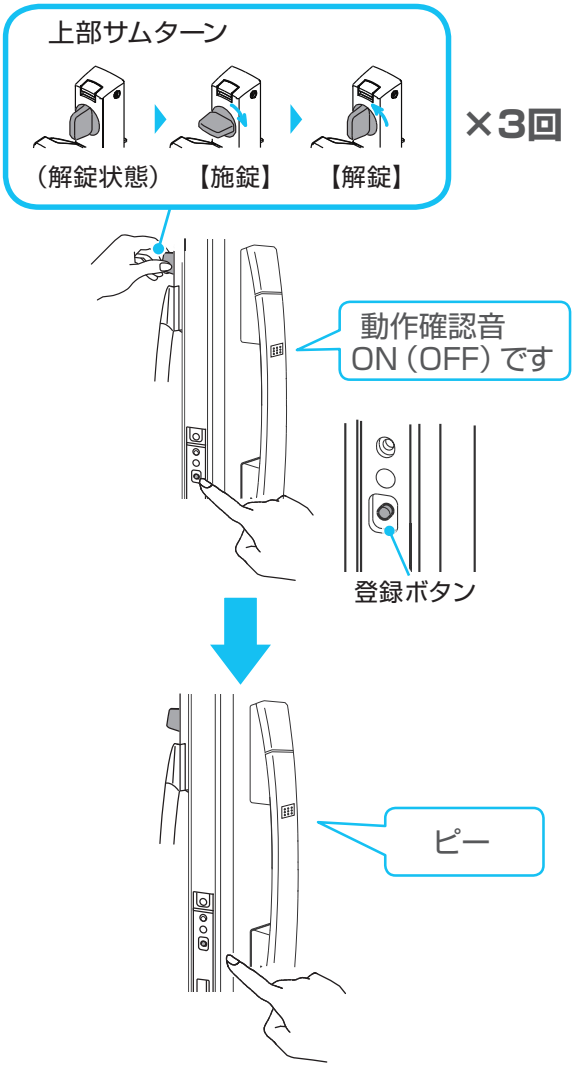
●設定の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯して行ってください。
●事前に下部錠の金属プレートを取りはずしてください。「設定前の準備」(➡ P.65)

■設定手順

1 動作確認音設定モードにする

登録ボタンを押しながら、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を**3回** 行ってください。

※「動作確認音ON（OFF）です」と現在の設定状態が音声で流れます。



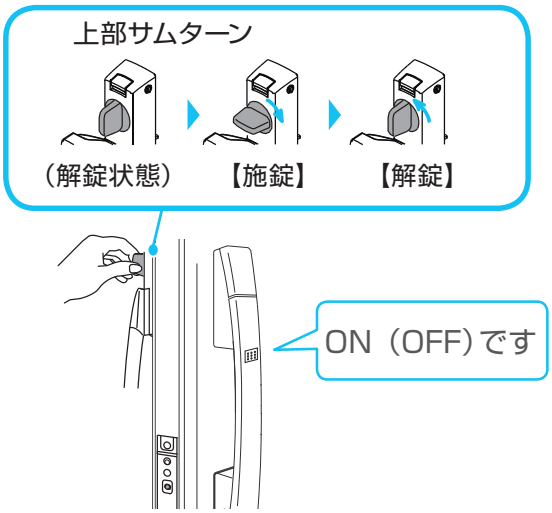
音声を確認したら、登録ボタンから指をはなしてください。
【動作確認音設定モード】が確定します。

※【動作確認音設定モード】が確定すると、「ピー」と音が鳴ります。

2 動作確認音のON／OFFを切り替える

**登録ボタンを押さずに、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を行ってください。**

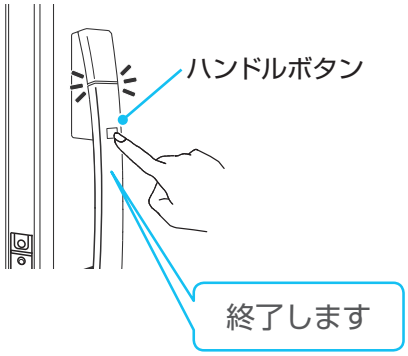
※「ON（OFF）です」と音声が流れます。
設定したい場合は、「ONです」
解除したい場合は、「OFFです」
の音声を確認してください。
※【施錠】⇒【解錠】の操作を行う度に
ON／OFFが切り替わります。



3 設定モードを終了する

ハンドルボタンを2秒押してください。

※設定モードを終了します。
※10秒間無操作でも設定モードを終了します。
※「終了します」と音声が流れます。



4 下部錠の金属プレートを取り付ける

「設定前の準備」（➡P.65）と同じように再度ドアを固定し、取りはずした金属プレートを取り付けます。

※リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」（➡ P.62）

●他機能を設定する場合は、金属プレートを取り付ける前に設定を行ってください。

ハンドルボタン操作の設定

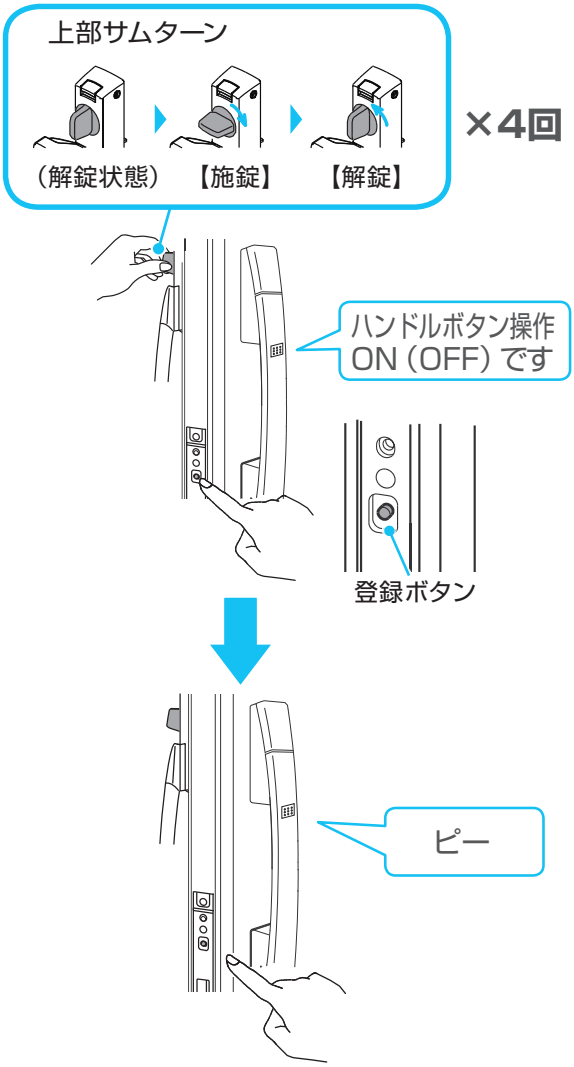
●設定の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯して行ってください。
●事前に下部錠の金属プレートを取りはずしてください。「設定前の準備」(➡ P.65)

■設定手順

1 ハンドルボタン操作設定モードにする

登録ボタンを押しながら、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を**4回** 行ってください。

※「ハンドルボタン操作ON（OFF）です」と現在の設定状態が音声で流れます。



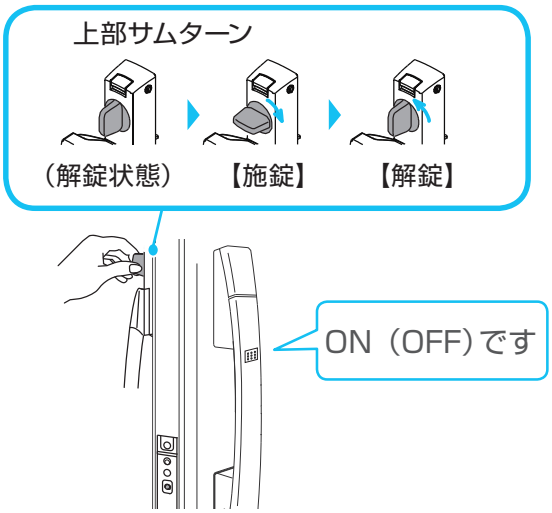
音声を確認したら、登録ボタンから指をはなしてください。
【ハンドルボタン操作設定モード】が確定します。

※【ハンドルボタン操作設定モード】が確定すると、「ピー」と音が鳴ります。

2 ハンドルボタン操作のON／OFFを切り替える

**登録ボタンを押さずに、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を行ってください。**

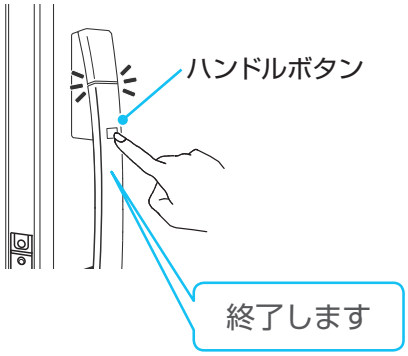
※「ON（OFF）です」と音声が流れます。
設定したい場合は、「ONです」
解除したい場合は、「OFFです」
の音声を確認してください。
※【施錠】⇒【解錠】の操作を行う度に
ON／OFFが切り替わります



3 設定モードを終了する

ハンドルボタンを2秒押してください。

※設定モードを終了します。
※10秒間無操作でも設定モードを終了します。
※「終了します」と音声が流れます。



4 下部錠の金属プレートを取り付ける

「設定前の準備」（➡P.65）と同じように再度ドアを固定し、取りはずした金属プレートを取り付けます。

※リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」（➡ P.62）

● 他機能を設定する場合は、金属プレートを取り付ける前に設定を行ってください。

音量の設定

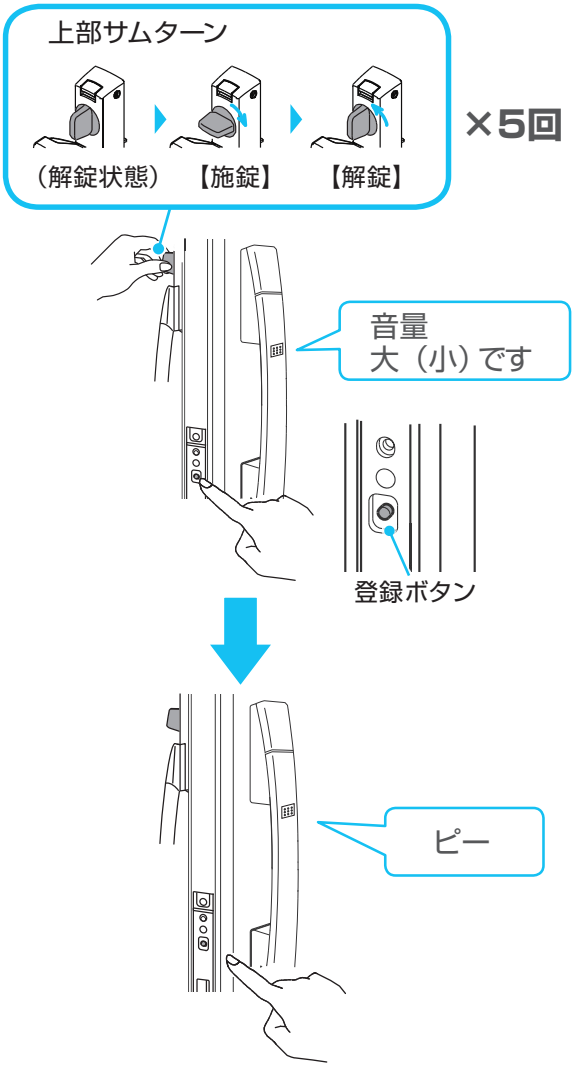
●設定の際は、不測の事態に備えて必ず非常用収納カギまたは非常用カギを携帯して行ってください。
●事前に下部錠の金属プレートを取りはずしてください。「設定前の準備」(➡ P.65)

■設定手順

1 音量設定モードにする

登録ボタンを押しながら、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を**5回** 行ってください。

※「音量大（小）です」と現在の設定状態が音声で流れます。



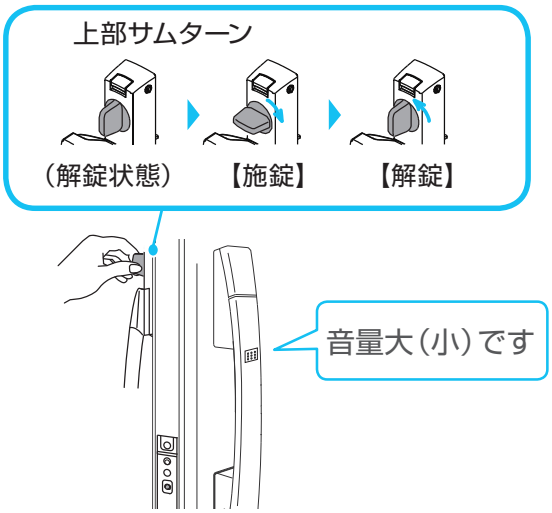
音声を確認したら、登録ボタンから指をはなしてください。
【音量設定モード】が確定します。

※【音量設定モード】が確定すると、「ピー」と音が鳴ります。

2 音量の大／小を切り替える

**登録ボタンを押さずに、
上部サムターンを解錠状態から
【施錠】⇒【解錠】の操作を行ってください。**

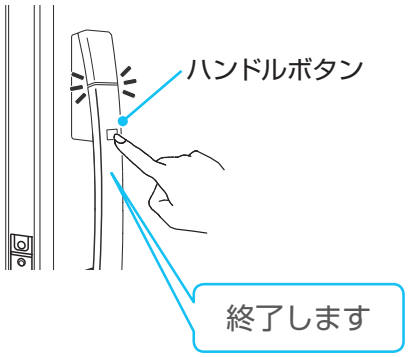
※「音量大（小）です」と音声が流れます。
音量を大きくしたい場合は、「音量大です」
音量を小さくしたい場合は、「音量小です」
の音声を確認してください。
※【施錠】⇒【解錠】の操作を行う度に
大／小が切り替わります



3 設定モードを終了する

ハンドルボタンを2秒押してください。

※設定モードを終了します。
※10秒間無操作でも設定モードを終了します。
※「終了します」と音声が流れます。



4 下部錠の金属プレートを取り付ける

「設定前の準備」（➡P.65）と同じように再度ドアを固定し、取りはずした金属プレートを取り付けます。

※リニアシステムの場合は、金属プレートを取り付けた後、ドアストッパーをはずして電源を入れてください。「リニアシステムの電源の入れ方」（➡ P.62）

●他機能を設定する場合は、金属プレートを取り付ける前に設定を行ってください。